

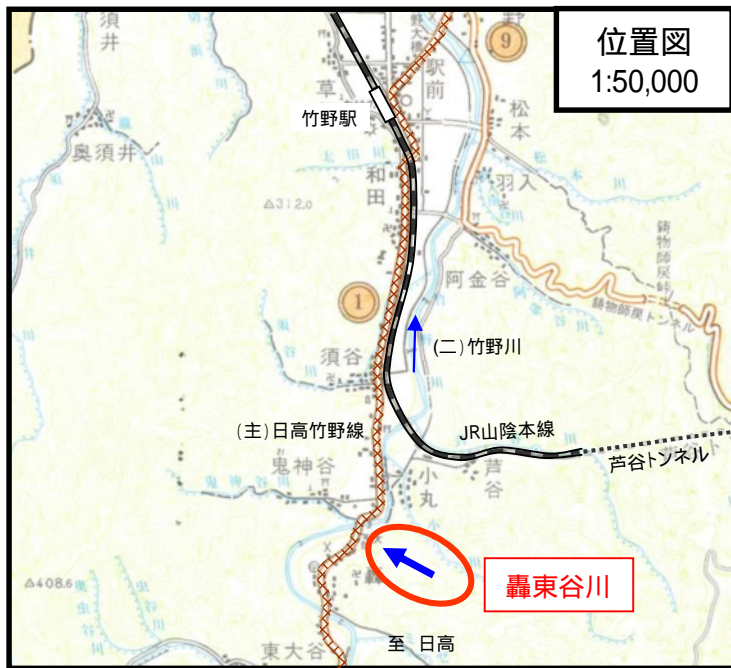
## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5億円
		通常砂防事業 <small>とどろきひがしたにがわ</small> 轟東谷川	豊岡市 <small>たけのちょうとどろき</small> 竹野町 轟	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市竹野町轟				H24	H26
事業目的			事業内容		
<b>土石流対策</b> 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 12.0m, L = 50.0m) (H = 10.0m, L = 40.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	・(二)竹野川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である幼稚園や小学校があり、土砂災害の危険性が高い。				
(保全対象等の状況)	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ300m、最大幅300m程度)に及ぶ。 ・ <u>中竹野幼稚園(災害時要援護者関連施設)、中竹野小学校(避難所)、人家12戸、公民館、県道日高竹野線</u>				
(2)有効性・効率性 (効果)	・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定済であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
(事業執行環境)	・工所用道路として市道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であり、また現場近くに広い作業ヤードを確保することができることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時要援護者関連施設である幼稚園や小学校といった重要施設が存在することから、早期着手に対する地元・施設からの要望が強い。  以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

とどろきひがしたにがわ

# 轟東谷川

[ 豊岡市 ]



## 計画概略図

縮尺 1:4,000

